青森北高等学校　スポーツ科学科

求める生徒像

本校では、「自治」・「協和」・「日進」の校訓のもとに、文武両道を中核として、社会の発展に寄与し得る、実践力に富む、個性豊かな人間の育成を目指しています。さらに、スポーツに関する幅広い知識を有し、個々の競技種目においては心身ともに卓越した力を発揮できるエキスパート・スペシャリストの育成を目指しています。そこで、基本的生活習慣が身に付いており、本校入学に強い意志を持ち、それぞれ下記の要件を満たす生徒を求めています。

一般選抜

次のすべての要件に該当する生徒を求めています。
1　基礎学力と優れた運動能力を有し、個々の競技種目を通して自らの競技力向上に努めるとともに、進路の達成も視野に入れながら、より高度な専門性の追求に情熱を持って取り組む生徒。
2　何事にもチャレンジする精神を持ち、文武両道に励みながら、自ら設定した目標の達成に向けて心身ともに意欲的に日々努力する生徒。

特色化選抜

次のすべての要件に該当する生徒を求めています。
1　本校の学びに対応できる学力を有し、それぞれのスポーツ活動において優れた能力や実績があり、本校に入学後も継続して主体的に活動しようという強い意欲のある生徒。
2　規範意識が身に付いており、積極的に他者とのコミュニケーションを図る意欲を持っている生徒。

入学者選抜（選抜方法等）

選抜方法【選抜順序〈①特色化選抜　②一般選抜〉】

一般選抜（募集人員の50%）

学力検査の得点（500点満点）の順位、調査書の評定の総計（135点満点）の順位を基に下記のように群に分け、Ⅰ群、Ⅱ群、Ⅲ群の順に選抜する。
選抜にあたっては調査書の記載内容と面接および実技検査を考慮しながら、求める生徒像に照らして総合的に判断して選抜する。
・Ⅰ群…学力検査の得点の順位と調査書の評定の総計の順位がともに一般選抜人員の90%以内にあるもの。
・Ⅱ群…学力検査の得点の順位と調査書の評定の総計の順位のいずれかが一般選抜人員の90%以内にあるもの。
・Ⅲ群…学力検査の得点の順位と調査書の評定の総計の順位がともに一般選抜人員の90%以内にないもの。

特色化選抜（募集人員の50%）

1　各選抜資料の配点（合計990点）
(1)　学力検査　500点
(2)　調査書　310点
ア　教科の評定　135点
イ　特別活動　最大40点
（生徒会長40点、生徒会委員長20点、学級会長20点）
ウ　部活動等　最大135点
（全国大会出場135点、東北大会出場110点、県大会入賞70点、県大会出場50点）
ただし、３位以内を入賞とし、中体連が主催・共催のものの他、県・地区選抜選手になるなど特筆できる実績及びクラブチームでの成績についても上記のように得点化する。
(3)　実技検査　120点（各種目40点）
(4)　面接　60点
2　上記１を基に、調査書の記載内容を考慮しながら、求める生徒像に照らして総合的に判断して選抜する。

面接及びその他の選抜資料等

1　面接
(1)　面接方法
集団面接（１組５名）
(2)　面接委員の構成
１組２名
(3)　所要時間
１組10分程度
(4)　面接内容
ア　志望の動機
イ　高校生活への抱負
ウ　将来の進路希望
エ　中学校での活動状況
オ　その他
(5)　評価の観点
ア　応答内容（意欲・向上心、積極性）
イ　言葉遣い・態度　等

2　実技検査
(1)　検査種目
ア　反復横跳び
イ　膝立てメディシンボール後方投げ（男子3kg、女子2kg）
ウ　立ち幅跳び
(2)　評価の観点
敏捷性、瞬発力、跳躍力

再募集（選抜方法等）

選　抜　方　法

1　各選抜資料の配点（合計990点）
(1)　学力検査　500点
（得点を５倍する）
(2)　調査書　310点
ア　教科の評定　135点
イ　特別活動　最大40点
配点については入学者選抜と同じ
ウ　部活動等　最大135点
配点については入学者選抜と同じ
(3)　実技検査　120点（各種目40点）
(4)　面接　60点
2　上記１を基に、調査書の記載内容を考慮しながら、求める生徒像に照らして総合的に判断して選抜する。

面接及びその他の選抜資料等

1　面接
(1)　面接方法
個人面接
(2)　面接委員の構成
１組２名
(3)　所要時間
１人５分程度
(4)　面接内容
入学者選抜と同じ
(5)　評価の観点
入学者選抜と同じ
2　実技検査
入学者選抜と同じ